**＜2014年度　千葉支部　第3回資格更新研修会＞**

**日時：2015年2月8日（日）9時30分～12時30分(9時受付開始)**

**会　場：千葉大学西千葉キャンパス（教育学部　1号館1階大会議室）**

ＪＲ西千葉駅より徒歩8分、京成みどり台駅より徒歩７分、

○学内への車の乗り入れはできません。必ず正門よりお入りください。

○正面からはいって、左に曲がり道なりに進みます。付属小学校（その道の左側にあります）の道を挟んで、右側の建物です。

主　催：日本臨床発達心理士会千葉支部

**テーマ　　地域支援のあり方とこれからの課題**

**〜千葉・東京・群馬の取り組みから〜**

司会：中村晋（筑波大学附属特別支援学校）

話題提供（１）星茂行（ウェルピアかつしか子ども発達センター）

　　　「東京都内・葛飾区における療育・教育各機関の連携による支援（仮題）」

　　　話題提供（２）亀田良一(群馬県みなかみ町立桃野小学校)

　　　「群馬県内におけるつながりを意識した地域支援（仮題）」

○企画趣旨

千葉支部ではこれまでに多くの研修や実践を積み重ね、２０１３年に「未来につながる・世代をつなげる・地域でつながる生涯発達～臨床発達心理学の可能性～」とテーマを設定し、全国大会を開催した。

大会シンポジウムの「未来につながる・世代をつながる・地域でつながる生涯発達支援-２　〜全国の地域支援システムから〜」では、異なる地域における支援システムの話題提供があった。指定討論では、支援機関間で「相互理解」と「相互尊重」の関係を築き上げること、立場が違う多職種の機関間の分業による協業によって地域で支援する「力」を育てることによって質の高い支援を行うことが重要であるとし、こうしたネットワークの構築や専門職間をコーディネートする役割も臨床発達心理士に求められる専門性であることが述べられた。

今回の研修では、シンポジウムでのまとめを踏まえて、再現性ある質の高い支援の実現にむけ、地域の特性に応じたシステムの構築と具体的な支援を行う様々な職種における支援者の専門性を高める人づくりを深めていきたい。

なお、本企画は、１０月研修会にて実施できなかったものを再企画した。

◯参加費：1000円

◯ポイント：1ポイント

◯参加申込：有資格者については申し込みの必要はありません

年度当初の総会資料の年間研修予定では、２月８日（日）の研修会は午前と午後の２部になっておりました。しかし、役員改選や規約改正にむけての役員内での協議が必要になったため、今回は午後の研修を中止させていただきます。